

(2) 消防施設

ア 施設概要

水害による被害を防ぐため、湯沢市水防計画に基づき、水防倉庫を市内各地区に10箇所設置しています。

また、災害が発生した際、地域に密着し、中核的な役割を果たすとともに、平常時・非常時を問わず住民の安全と安心を守るため、1本部14分団104部188班体制で消防団を編成しており、その活動の拠点として、「消防用ポンプ格納庫」を173箇所設置しています。

イ 現状と課題

① 水防倉庫

水防倉庫には、土のうや防水シート、ロープ、杭など水防資機材を格納しています。

10施設のうち、建築から40年以上経過し老朽化が進んでいる施設が7施設となっています。施設の管理は基本的に市が直接行っていますが、湯沢地域の7施設については、冬場の屋根の雪下ろしを消防団員が行っています。

【施設の詳細は資料編を参照】

② 消防団施設（消防用ポンプ格納庫）

消防団は、地域防災力の中核的役割を担い、その活動拠点となる消防用ポンプ格納庫は、活動の戦略を立てるほか、団員の待機・打合せの場所として、また、消防用車両等機械器具の保管・維持管理のための機能を備え、常時、使用できる状態で消防団員が管理運営しています。

173施設のうち、建築から40年以上経過し、老朽化が進んでいる施設が98施設となっています。また、消防団員の高齢化、なり手不足により、団員の確保が難しくなっている現状です。令和5年に「第Ⅱ期消防力整備推進計画（令和6年～令和10年）」を策定し、消防団体制（組織体制）、消防用ポンプ積載車並びにその格納庫の配備等を盛り込み、順次進めています。

【施設の詳細は資料編を参照】

【現状と課題のまとめ】

消防団の編成については、市内全域をカバーできるように、昭和22年に編成し、現在も当時の体制を維持していますが、消防団員の高齢化やサラリーマン化により団員の確保が困難になってきていること、常備消防力が充実してきていること、地域の自主防災組織の結成が進んでいることなど、編成当時との状況が大きく変化してきていることから消防団組織のあり方について「第Ⅱ期消防力整備推進計画」に基づき計画的な対応が必要です。

一方、消防用ポンプ格納庫のうち、耐震化が済んでいない施設があること、消防車両の高規格化、大型化が進み狭隘になっていること、敷地として多くの民有地を借り受けていることなどの課題も顕在化してきています。

ウ 今後の方針とスケジュール

総合管理計画の今後の方向性に基づき、「施設の安全性」、「施設の必要性」、「施設の有効性」、「管理運営の効率性」の視点から検証し、分析・評価を行いました。また、分析・評価を踏まえて、施設の対応方針を定めました。これらの内容は次のとおりです。

【基本的な考え方】

○ 市民の生命・財産を守る消防施設は、基本的に継続しますが、消防団を取り巻く環境の変化を考慮し、「第Ⅱ期消防力整備推進計画」に基づき、組織改編、施設の建替・修繕を進めます。

【個別施設ごとの対応方針】

① 水防倉庫

○ 水害による被害を防ぐための水防資機材を保管する場所として、施設の老朽化の状況を精査し、必要な修繕を行い継続使用するか、建替を進めます。

② 消防団施設（消防用ポンプ格納庫）

○ 地域防災の要となる消防団の機能やその活動の拠点となる消防団施設については、今後も充実、強化を図っていきますが、消防団編成時以後の環境の変化を踏まえ、「第Ⅱ期消防力整備推進計画」に基づいて組織改編等を進め、施設については、組織再編の状況を見据え、必要に応じて修繕・建替を進めます。

○ 今後も継続して配置する消防団詰所の敷地の公有地化を進めます。

【年度別スケジュール】

項目	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 ~ 2030年度 (R10) (R12)
水防倉庫	必要に応じて修繕、建替				
消防用ポンプ格納庫	第Ⅱ期消防力整備推進計画に基づき、消防団組織の再編並びに消防用ポンプ格納庫の修繕・建替等				

エ 概算事業費と効果額

単位：千円

施設 No.	施設名称	構造	今後の方向性		更新費用の試算（40年間：令和2～41年度）						維持管理費	
					現状維持した場合			本計画を実施した場合			単年度の比較	
					大規模改修	建替	合計	長寿命化等大規模改修	建替	合計	現状維持	計画実施
-	水防倉庫		-		0	195,269	195,269	0	195,269	195,269	0	0
-	消防団ポンプ置場 ポンプ格納庫		-		0	945,078	945,078	0	643,184	643,184	49,657	33,916
概算事業費（合計）					0	1,140,347	① 1,140,347	0	② 838,453	③ 838,453	④ 49,657	④ 33,916

更新費用の試算比較 ②-①	単年度の維持管理費の比較 ④-③
△ 301,894 千円	△ 15,741 千円